

# 台風接近に伴う農作物等の技術対策

## 【普通作】

### 1 水稲

- (1) 収穫早限に達しているほ場は、可能ならば台風襲来前に収穫する。台風通過後に収穫する場合は穂が汚れないように落水管理とし、通過後速やかに収穫する。
- (2) 収穫前1週間程度のほ場は落水管理とし、成熟期を迎えたら速やかに収穫する。
- (3) 強風による倒伏や葉の裂傷、稲体表面からの蒸散作用により脱水症状となる「急性萎凋症状」が発生する恐れがあるため、台風通過時は深水管理を行う。
- (4) 台風通過後のイネは水分の吸収が盛んになるため、通過後数日間は、ほ場の水を切らさない程度に深水状態を保つ。
- (5) 冠水した場合には、早急に排水を図り、冠水時間を短くする。排水後は、できるだけ新しい酸素を含んだ用水との入れ替えを実施する。

### 2 大豆

- (1) 大雨による停滞水を出来るだけ早くほ場外に排出するため、事前に畦溝や排水溝の整備を行う。
- (2) 台風通過後に、大雨でほ場内に停滞水がある場合は、本暗きよの栓を開けて排水するとともに、再度、畦溝や排水溝の点検整備を行う。
- (3) 台風通過後は、葉焼病の発生が心配されるため、必要に応じて防除する。